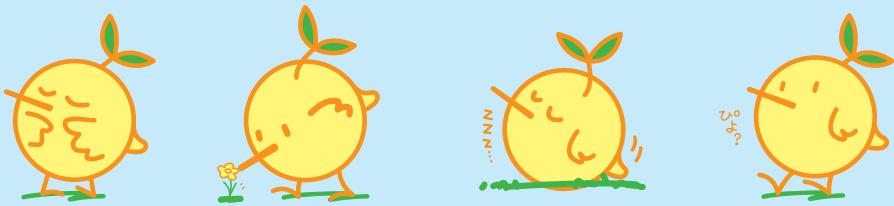




マルサンアイ株式会社

証券コード 2551



『しあわせ株式会社』をめざして

第52期 事業報告書

2002年9月21日から2003年9月20日まで

マルサンアイを ご理解していただくために

Q 1 「マルサンアイ」という社名には、なんとなく暖かみを感じます。この社名はどういうにして付けられたのですか？

創業時の岡崎醸造株式会社から商品ブランド名である「マルサン」を社名に入れ岡崎マルサン株式会社として再スタートしたのが、1964年のことです。当時、中部地方で赤みそと白みそを合わせたミックスみそがヒット商品となったことが商品ブランドと社名を一致させる良いきっかけでした。その後、事業の全国展開が第一次豆乳ブーム（1983年）によ

り実現し、社内募集で土地名の岡崎を取り「マルサンアイ株式会社」としました。また、「マルサンアイ株式会社」の「アイ」には愛知県の愛、お客様と商品を愛する愛、インターナショナルの I (アイ) と、岡崎の名はなくなったものの地元に込める想い、「しあわせ株式会社」に相応しい社名、国内外での事業展開などの意味を込めています。

Q 2 みそと豆乳が事業の柱のようですが、今後についてはいかがですか？

みそと豆乳は今後も当社の主力事業です。今まで事業の柱として投資を行ってきましたが、まだまだ伸びる余地があります。「みそ＝みそ汁」というように私たちは一部の用途にとらわれすぎていると思います。みそは調味料として開発の余地がありますし、種類の開発もまだできると思います。加えて、当社のみその販売額のうち業務用の占める割合が少なく、家庭用に依存しています。業務用みその売上を伸ばすことが課題のひとつであり、十分できると考えています。

また、豆乳についても「飲む豆乳」から「食べる豆乳」への商品開発を考えています。当社の開発した「とうふができる濃い豆乳」や三和化学研究所さんとの共同で開発した病院向けの高栄養食品はその一例です。大豆が健康食品として世間に知れ渡るようにな



しもむら はつじ
代表取締役社長 下村 鉢爾

り、その効能を食に結び付けていく努力が私たちに求められています。限られた事業資源を集中させ、継続的に事業の発展をさせていきたいと思います。

Q 3 食品の安全性に関する報道が世間の関心を集めていますが、どのような対応をしていますか？

私たちは常時、有機栽培大豆に関する契約を産地と直接結んでいます。その精神は「生産者と消費者の常識の一致」という考えに基づくものなので、自然な対応を心掛けています。自分が何らかの不安があって買えない商品は提供しない、ということであり、消費者の皆様が懸念される原料の排除は私たちが当たり前のこととして取り組まなければならないことなのです。例えば、遺伝子を組み替えた作物に対する懸念が少しでもお客様にあるのであれば、私たちは敢えて使用することはないと考えます。



純正こうじみそ

Q 4 日本人の食生活が変化していますが、今後のみぞ需要とその対応についてお聞かせ下さい。



カップ 味の饗宴無添加生みそ

全国的に見て、みその消費量がここ数年1～2%の割合で減少しています。このことに関しては、私たちメーカーの責任であると思っています。米飯食嗜好とみその需要が連動する日本の伝統的食文化への新たな提案が十分ではないのでしょうか。例えば、おいしいみそ汁の作り方がきちんと教えられていますか？ 誰でも簡単に作れるだろう、という発想の方がが多いのではないかでしょうか？ おいしいみそ汁の作り方の指導をしたり、調理みそなどの開発を行ったりして新たな需要を掘り起こしていかなければ、と思っています。

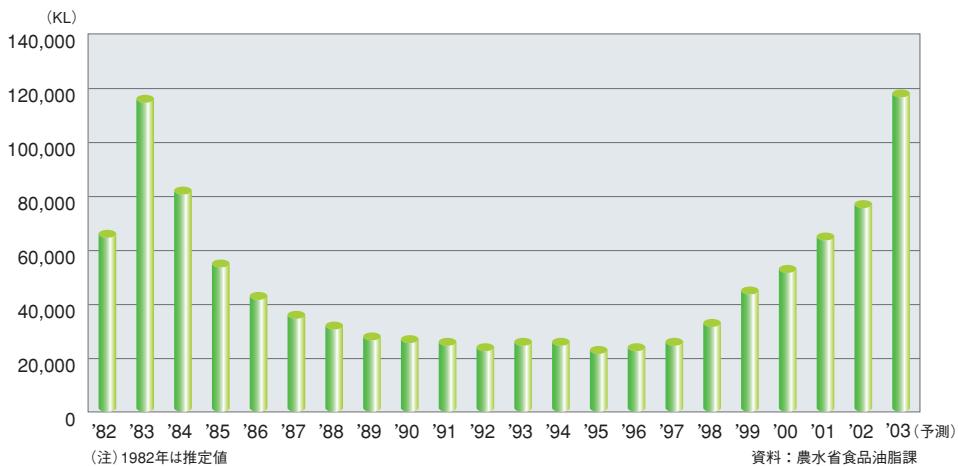
Q 5 豆乳ブームが続いているが、今後の動向と事業戦略についてお聞かせ下さい。

1983年をピークに1995年まで下降線をたどった豆乳生産量は1996年より再び上昇に転じ、本年（2003年）には120,000KLを越えるまでに成長してきました。このことは、メーカーによる「飲み易さの追求」への努力だけでなく、健康志向の高まりが豆乳市場の拡大に寄与したものと思われます。商品性の向上と需要を喚起する外部要因が、この市場の拡大を支えているので、決して単なるブームではないでしょう。牛乳の市場は概算で年間7,700億円の市場です。豆乳市場はその4%の約300億円程度です。今後、控えめにみても、年率10%前後の拡大は期待できると思います。日本の人口構成が高齢化する中、植物性蛋白質への需要が高まることは容易に想像できます。飲む豆乳市場の拡大も期待できるのですが、当社は戦略的に「飲む豆乳」から「食べる豆乳」への商品開発を行うことで、新たな市場を開拓していく努力を行っていきたいと考えています。



調製豆乳

豆乳生産量



**Q
6** 豆乳ブームの中、関東に工場を新設されますが、生産能力はどの位拡大するのですか？また、稼働後の業績への影響をお聞かせ下さい。

生産能力は25%程拡大する予定です。業績への寄与は稼働開始が来夏になるため2004年9月期の業績への寄与はほとんどありませんが、2005年9月期には年間を通して寄与してくれるものと考えています。

A

**Q
7** 最後に、株主の方々へのメッセージをいただけますか。

地味だと思われるかもしれません、安定成長を心掛けていきます。成長した分しっかりと還元することで、安心して株式を保有していただけるようにしたいと思っています。現在当社では、株主の皆様にアンケートをお願いしています。皆様のご意見を参考に、もっと当社を理解していただけるように、また株主優待制度をもっと充実できるように、など今後の課題として取り組んでいきたいと思っています。

最後になりましたが、株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

沿革

1952年3月	資本金150万円で岡崎醸造株設立。
1964年9月	社名を岡崎マルサン(株)に改称。ミックスみそ発売。
1968年10月	全国酒類調味食品品評会において、業界初のダイヤモンド賞を受賞。
1970年11月	全国味噌工業協同組合主催、全国味噌品評会で農林大臣賞を受賞。
1971年6月	資本金を4,500万円に増資。
1972年3月	本社工場を現所在地(岡崎市仁木町)に建設完工し、旧工場より移転。純正こうじみそ発売。
1980年4月	本社内に豆乳工場を完成。資本金を1億8,000万円に増資。
1983年1月	社名をマルサンアイ(株)に改称。資本金2億3,000万円に増資。
1985年6月	米国での合弁会社アメリカン・ソイ・プロダクツを設立し、豆乳の生産を開始。
1992年7月	(株)匠美設立。
1997年2月	豆乳に最も適した乳酸菌と酵母の複合発酵で、業界初となる植物性発酵飲料を開発、発売。
1998年3月	資本金を5億1,314万円に増資。
2000年8月	資本金を5億2,364万円に増資。
2001年6月	名古屋証券取引所市場第二部上場。資本金5億6,214万円に増資。
2001年9月	ISO9001認証取得。(範囲:豆乳の開発・設計及び製造。)
2003年6月	オカラ加工設備を備えた豆乳工場新館完成。
2003年12月	(株)玉井味噌の株式を取得。(子会社化)



麦芽豆乳

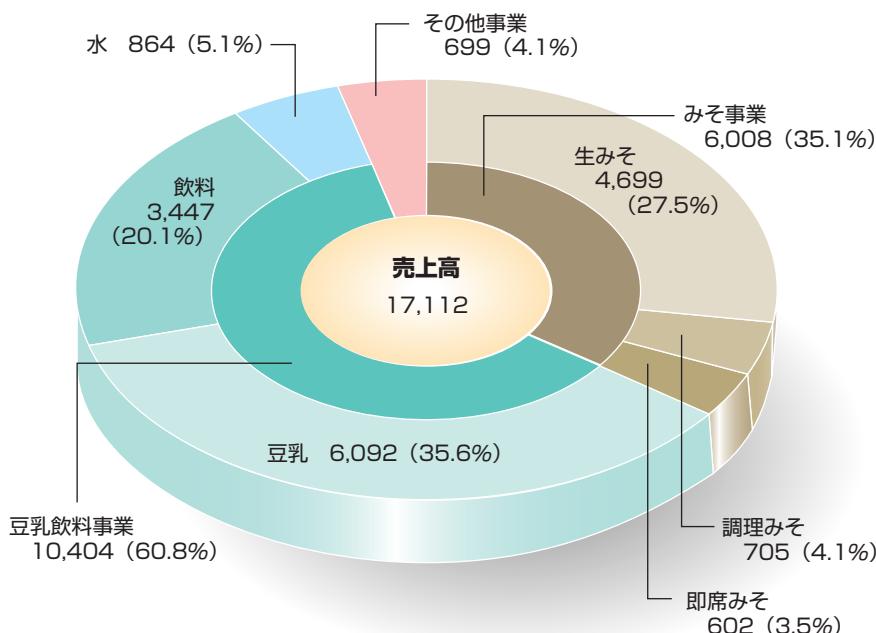
営業の概況及び見通し(連結)

当期の概況

当期の業績は、みそ事業での単価下落による収益の伸び悩みはあったものの、豆乳の販売が好調だったため、売上高は171億12百万円（前期比0.7%増）、営業利益は、販売運賃の増加や4月からの社会保険料の総報酬制導入により賞与引当金に対する同保険料会社負担増があり9億26百万円（前期比5.1%減）となりました。経常利益につきましては、連結子会社の株式会社匠美と持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツの業績が前年に比べて伸び悩んだため、7億33百万円（前期比3.9%減）、特別損失として退職給付会計基準変更時差異償却額1億26百万円、厚生年金基金解散時不足金43百万円などを計上したため、当期純利益は2億68百万円（前期比11.7%減）の、増収減益となりました。

売上構成

(単位：百万円)



— 次期の見通し —

今後の経済情勢につきましては、景気回復に一部明るさが見えておりますが、デフレの長期化、雇用情勢や年金制度に対する先行き不安などによる個人消費の低迷が続くと予想され、依然として厳しい状況が続くと思われます。

食品業界におきましては、多様化・高度化する消費者ニーズへの的確な対応が求められる一方、低価格で安全性が高く、健康に良い商品の供給に期待が高まっております。

みそ事業に関しましては、みそ汁としてのみぞにこだわらず、発酵調味料のひとつとして新たな需要の拡大に努めてまいります。

豆乳飲料事業に関しましては、新規参入企業が増えて市場拡大が続く今、当社といたしましては、大豆のよさを活かした飲料としての豆乳だけではなく、バラエティーに富んだ活用法を今後とも積極的に提案してまいります。

なお、豆乳の供給不足改善に向けて、本社工場におきましては、稼働率向上のために勤務体制の見直しを図るとともに、廃水処理施設の増設を予定しております。また、平成16年4月の完成を目指して関東工場を建設する準備を進めております。

今後も引き続き環境面、品質、安全、衛生面で細心の注意を払い、安全で安心のできる製品作りを目指していく所存であります。

2004年9月期の見通しにつきましては、売上高177億60百万円（前期比3.8%増）、営業利益9億96百万円（前期比7.5%増）、経常利益7億82百万円（前期比6.8%増）、当期純利益3億18百万円（前期比18.5%増）を見込んでおります。

— 連結業績 —

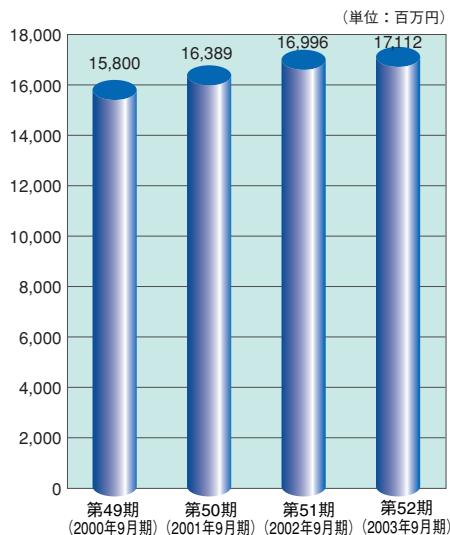
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2004年9月期予想 (前年比)	17,760 (3.8%増)	996 (7.5%増)	782 (6.8%増)	318 (18.5%増)
2003年9月期実績	17,112	926	733	268
2002年9月期実績	16,996	976	762	304

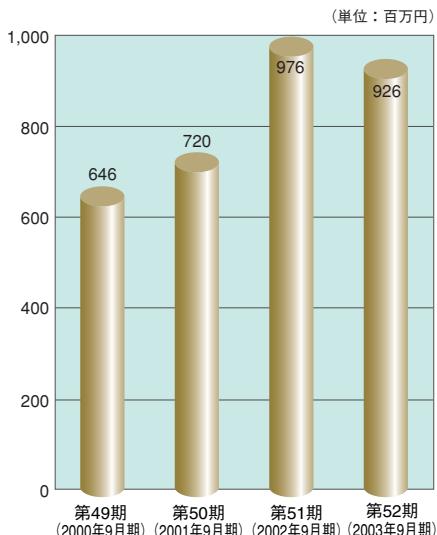
(注) 連結子会社1社、持分法適用関連会社1社

財務データ(連結業績)

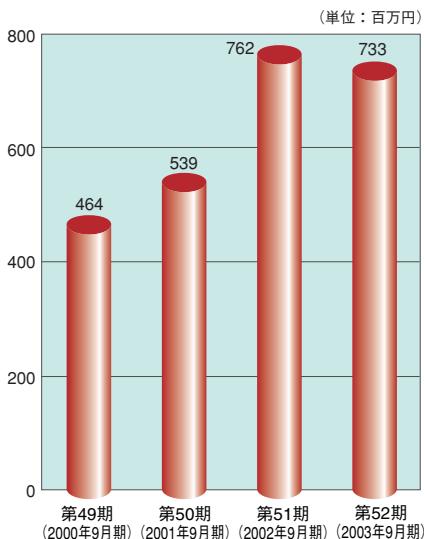
売上高



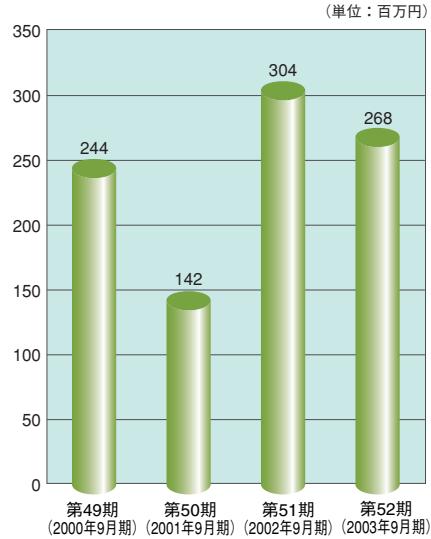
営業利益



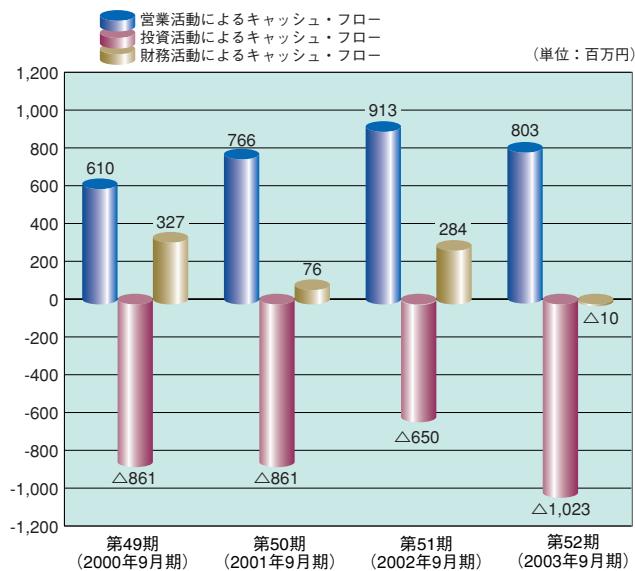
経常利益



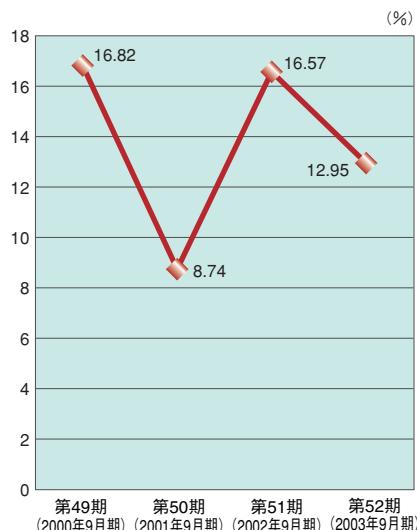
当期純利益



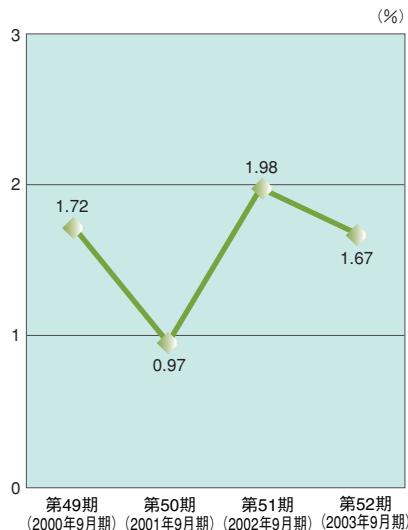
— キャッシュ・フロー —



— 株主資本当期純利益率(ROE) —



— 総資本当期純利益率(ROA) —



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	2003年 9月20日現在	2002年 9月20日現在	科 目	2003年 9月20日現在	2002年 9月20日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	8,042	8,160	流動負債	7,461	6,655
現金及び預金	2,105	2,701	支払手形及び買掛金	2,266	1,952
受取手形及び売掛金	4,283	3,927	短期借入金	2,080	2,352
たな卸資産	1,066	1,059	1年以内償還予定社債	400	—
繰延税金資産	320	249	未払法人税等	222	285
その他の	272	223	賞与引当金	379	329
貸倒引当金	△ 5	△ 1	未払金	1,366	1,137
固定資産	8,337	7,582	その他の	745	597
有形固定資産	6,436	6,078	固定負債	6,756	7,108
建物及び構築物	1,842	1,596	社債	800	1,200
機械装置及び運搬具	1,943	1,777	長期借入金	4,704	4,711
土地	2,592	2,592	退職給付引当金	946	726
建設仮勘定	3	70	役員退職慰労引当金	193	298
その他の	54	41	その他の	111	172
無形固定資産	31	29	負債合計	14,218	13,763
投資その他の資産	1,869	1,474	資本の部		
投資有価証券	1,151	799	資本金	562	562
長期貸付金	—	0	資本剰余金	309	309
繰延税金資産	494	439	利益剰余金	1,298	1,104
その他の	230	236	その他有価証券評価差額金	5	△ 1
貸倒引当金	△ 7	△ 1	為替換算調整勘定	16	6
資産合計	16,379	15,742	自己株式	△ 31	△ 1

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	2003年 9月期	2002年 9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	803	913
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,023	△ 650
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10	284
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	0
現金及び現金同等物の増減額	△ 230	548
現金及び現金同等物の期首残高	993	445
現金及び現金同等物の期末残高	763	993

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point

設備投資の状況

当期は、総額935百万円の設備投資を実施いたしました。

事業別の投資額は、みそ事業で181百万円、豆乳飲料事業で745百万円、その他事業で8百万円となっております。主な内容は、みそ事業では、調理みそ充填機増設及び仕込工場改修、豆乳飲料事業では、オカラ処理施設を含む新館建設及び豆乳増産対策設備、その他事業では、本館改装工事を実施いたしました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	2003年 9月期	2002年 9月期
売 上 高	17,112	16,996
売 上 原 価	11,266	11,392
販売費及び一般管理費	4,918	4,626
営 業 利 益	926	976
営 業 外 収 益	109	119
受 取 利 息	3	3
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	5	30
技 術 指 導 料 収 入	35	35
金 利 デ リ バ テ ィ ブ 評 価 益	35	24
そ の 他	29	26
営 業 外 費 用	303	333
支 払 利 息	213	233
棚 卸 資 産 処 分 損	38	—
そ の 他	51	100
経 常 利 益	733	762
特 別 利 益	—	3
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	—	3
特 別 損 失	197	220
固 定 資 産 除 却 損	27	26
投 資 有 債 証 券 評 価 損	—	68
退職給付会計基準変更時差異償却額	126	126
厚生年金基金解散時不足金	43	—
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	535	545
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	397	382
法 人 税 等 調 整 額	△ 131	△ 140
当 期 純 利 益	268	304

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	2003年 9月20日現在	2002年 9月20日現在	科 目	2003年 9月20日現在	2002年 9月20日現在
資産の部			負債の部		
流 動 資 産	7,804	7,868	流 動 負 債	7,252	6,397
固 定 資 産	8,042	7,173	固 定 負 債	6,518	6,775
有 形 固 定 資 産	6,550	5,766	負 債 合 計	13,770	13,172
無 形 固 定 資 産	31	29	資本の部		
投 資 そ の 他 の 資 産	1,461	1,378	資 本 金	562	562
資 産 合 計	15,846	15,042	資 本 剰 余 金	309	309
			利 益 剰 余 金	1,229	1,001
			その他の有価証券評価差額金	6	△ 1
			自 己 株 式	△ 31	△ 1
			資 本 合 計	2,076	1,869
			負 債 及 び 資 本 合 計	15,846	15,042

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	2003年9月期	2002年9月期
売 上 高	16,423	16,089
売 上 原 価	10,827	10,789
売 上 総 利 益	5,595	5,299
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	4,725	4,454
営 業 利 益	870	845
営 業 外 収 益	115	125
営 業 外 費 用	293	318
経 常 利 益	691	652
特 別 利 益	—	4
特 別 損 失	197	214
税 引 前 当 期 純 利 益	494	442
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	380	366
法 人 税 等 調 整 額	△ 124	△ 147
当 期 純 利 益	238	223
前 期 繰 越 利 益	381	231
合 併 に よ る 未 处 分 利 益 受 入 額	9	—
当 期 未 处 分 利 益	628	455

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

トピックス

- 2002年12月** ● **50周年記念配当の実施。**
弊社50周年記念配当1円50銭を含む合計1株につき6円50銭とさせていただきました。
- 2003年1月** ● **IRセミナーを開催。**
テレビアホール（名古屋市）にて開催いたしました。
352名の熱心な一般投資家を迎えて盛況に取り行われました。
- 
- 2003年2月** ● **東海インベストメントセミナーに参加。**
機関投資家に対するIRを実施いたしました。
- 2003年3月** ● **コミットメントライン契約締結。**
金融費用の圧縮及び資金効率の向上を目的として(株)UFJ銀行、(株)みずほ銀行、岡崎信用金庫と契約を締結いたしました。(融資枠設定金額10億円)
- 2003年4月** ● **インターネット通信販売「e-まめ通販」スタート。**
大豆を中心とした食品のインターネット通販です。「マルサン俱乐部」に会員登録（当社HP（<http://www.marusanai.co.jp/>）より無料）の上、ご利用いただけます。
- 2003年6月** ● **オカラ加工設備を備えた豆乳工場新館完成。**
- 2003年6月** ● **会社説明会を開催。**
103名の一般投資家の方が参加されました。
- 
- 
- 2003年8月** ● **名証IRエキスポ2003に出展。**
名証IRエキスポは、名古屋証券取引所の上場企業が一堂に会して、投資家の皆様に情報発信をする「投資家と上場企業をつなぐ」イベントです。
- 
- 2003年9月** ● **新イメージキャラクターに篠原ともえさんを起用しました。**
- 



●だし入り コクとうま味

小売参考 430円
荷 姿 1kg×6

米みそに豆みそを20%ブレンドしました。みその味は米みそのまま、豆みその「コクとうま味」を活かしたあわせみそです。「かつお・昆布」天然だし入りみそです。

東海三県（愛知・三重・岐阜）を除く全国発売



●大豆の栄養とビタミンD&カルシウム

小売参考 430円
荷 姿 500g×10×8

カルシウムの吸収を助けるビタミンDを強化した栄養機能食品です。当社独自の焙煎法（特許NO.2668480号）で、イソフラボン・サポニン等の肝機能改善効果を活かした焙煎大豆胚芽入りです。



●国産原料100% 無添加あわせ

小売参考 400円
荷 姿 1kg×10

風味豊かなじっくり熟成させた米みそに、濃厚なコクを持つ豆みそをあわせ、「コクとうま味」を活かしたあわせみそです。



●あんず果実使用 田楽みそ

小売参考 140円
荷 姿 110g×10×4

国産大豆使用、あんず果実を使用したさわやかな風味です。使いやすく保管に便利な、リキャップ付スタンディングパウチ入りです。着色料、化学調味料は使っていません。



●すだち果汁使用 醋みそ

小売参考 140円
荷 姿 110g×10×4

黒酢使用、すだち果汁を使用したさわやかな風味です。使いやすく保管に便利な、リキャップ付スタンディングパウチ入りです。着色料、化学調味料、保存料は使っていません。



●すだち果汁使用 からし酢みそ

小売参考 140円
荷 姿 110g×10×4

黒酢使用、すだち果汁を使用したさわやかな風味です。使いやすく保管に便利な、リキャップ付スタンディングパウチ入りです。着色料、化学調味料、保存料は使っていません。



●懐石仕立本場赤だし

小売参考 200円

荷 姿 3食×10×4

本場赤だしシリーズ商品です。大きな豆腐、三つ葉、長ねぎ、わかめの具の素材の味を引き立たせた懐石仕立の赤だしです。

●とん汁赤だし

小売参考 200円

荷 姿 2食×10×4

ボリュームたっぷりのレトルト具材を使用した赤だしとん汁です。具材には豚肉と赤だしによく合う根菜類、ごぼう・じゃがいも・大根・玉ねぎ・にんじんを使用しました。豆みそ100%を天然だし（本かつお節・昆布）でおいしく調理した赤だしみそ仕立てです。



●フリーズドライのおみそ汁5食

小売参考 250円

荷 姿 5食×6×4

みそと具材を別々にフリーズドライした風味新鮮な即席みそ汁です。こうじみそ使用です。みそもフリーズドライのため、生タイプ即席みそ汁より、アツアツでお飲みいただけます。

便利なチャック付きスタンドパック包装で、開封後個包装が散らばりません。具材は長ねぎ3食と油揚げ2食のアソートです。

●豆乳鍋スープ

小売参考 300円

荷 姿 700g×12

マルサン有機豆乳無調整200mlを1本使用した鍋専用スープです。豆乳独特なまろやかさと甘さを活かした豆乳鍋です。日高昆布だしを使用し、まろやかに仕上げました。豆乳の大豆タンパク質が生活習慣病予防に効果的です。



●ごぼう炒め

小売参考 140円

荷 姿 (45g×2) ×10×4

野菜を切って炒めるだけでおいしい野菜料理を手軽に作ることのできる合わせ調味料です。

会社の概況

2003年9月20日現在

●商 号 マルサンアイ株式会社
(英訳名: MARUSAN-AI Co., Ltd.)

●設 立 1952年3月7日

●主要な事業内容 大豆を主原料とするみそ、豆乳、無菌充填技術を生かした飲料類、その他食品の製造販売。

●資 本 金 562,144,000円

●従業員の状況 354名

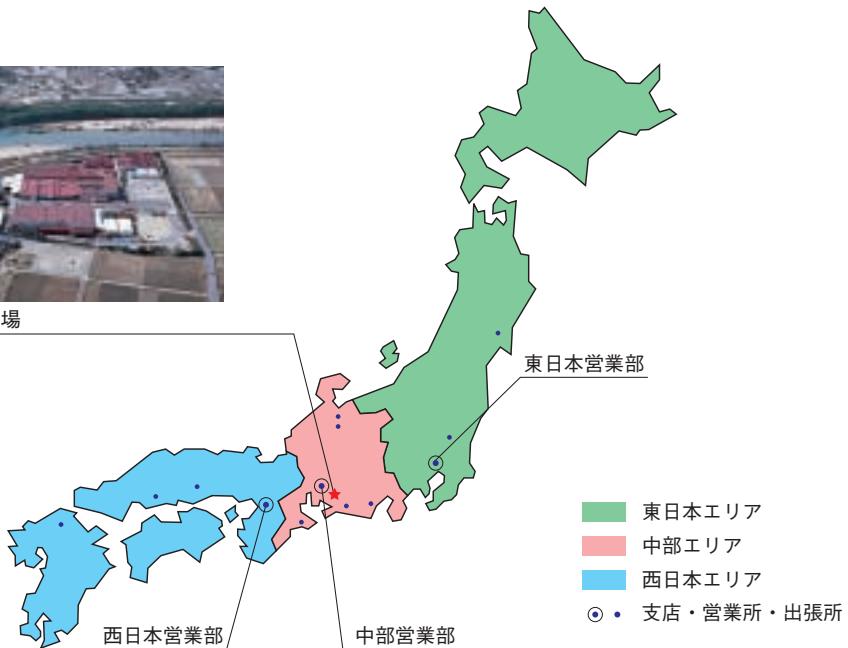
●役 員 (2003年12月16日現在)

代表取締役社長		下 村 銀 爾
常務取締役	開発本部長(兼)品質保証部長	小 川 脩
常務取締役	営業本部長	鍋 田 紘 一 郎
常務取締役	管理本部長	鈴 木 擴 司
取締役	生産本部長	青 木 春 雄
取締役	営業本部副本部長(兼)東日本営業部長	小 柳 忠 義
取締役	生産本部副本部長(兼)製造部長	三 浦 里 美
取締役	管理本部副本部長(兼)経理財務部長	大 河 内 宣 久
取締役相談役	工場戦略、アメリカン・ソイ・プロダクツ担当	岩 月 博 保
常勤監査役		村 松 茂 雄
監査役		畠 部 泰 則
監査役		新 井 一 弘

●マルサンアイ営業ネットワーク



本社・工場



本社／工場 愛知県岡崎市仁木町字荒下 1 番地
 大門工場 愛知県岡崎市大門 4 丁目 1 番地 11
 名古屋統括支店 愛知県愛知郡長久手町蟹原 911 番地
 北陸出張所 富山県中新川郡立山町東大森 289 番地 2
 静岡支店 静岡県静岡市宮竹 1 丁目 15 番 10 号
 オフィスプレステージ 2 階 D 号
 三河支店 愛知県豊川市三蔵子町橋本 16 番地 1
 三重支店 三重県津市雲出本郷町 485 番地

東京支店 東京都世田谷区千歳台 4 丁目 6 番地 5
 東北支店 宮城県仙台市宮城野区高砂 1 丁目 302 番地 1
 北関東支店 栃木県小山市城東 1 丁目 4-24 小山ビル 2 階
 大阪支店 大阪府茨木市舟木町 19 番 3 号
 岡山営業所 岡山県岡山市岡町 1 丁目 6 番地
 広島営業所 広島県広島市安佐南区祇園 4 丁目 8 番地 2
 九州出張所 福岡県福岡市南区高木 1 丁目 9-12

〈子会社・関連会社〉

株式会社 匠美 富山県中新川郡立山町東大森 289 番地 2 アメリカン・ソイ・プロダクト (米国) 米国ミシガン州
 株式会社玉井味噌 長野県東筑摩郡坂井町 561



株式会社匠美



株式会社玉井味噌



アメリカン・ソイ・プロダクト

株式の状況

2003年9月20日現在

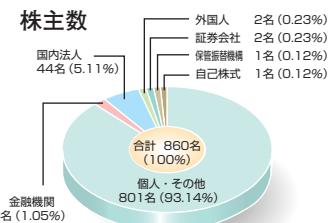
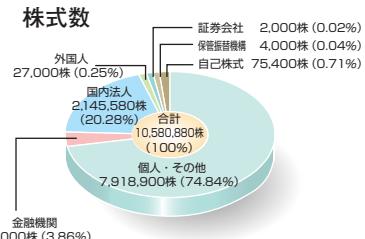
●会社が発行する株式の総数 40,000,000株

●発行済株式の総数 10,580,880株

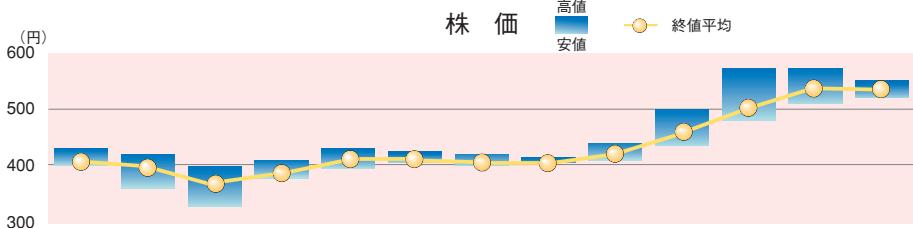
●株 主 数 860名 (前年末比81名増)

●大 株 主

株 主 名	当社への出資状況	
	持 株 数	議決権比率
株式会社佐藤産業	1,525,300 株	14.57 %
マルサンアイ従業員持株会	935,900	8.93
佐 藤 公 信	695,420	6.64
中 島 典 子	426,830	4.07
福 島 裕 子	426,830	4.07
佐 藤 不 二 子	416,300	3.97
下 村 釣 爾	260,000	2.48
石 田 ち 純	248,280	2.37
株式会社UFJ銀行	170,000	1.62
中 島 治 夫	169,800	1.61
福 島 重 喜	169,800	1.61



●株価等の推移



株主メモ

決 算 期	毎年9月20日
定 時 株 主 総 会	毎年12月
利益配当金受領 株 主 確 定 日	9月20日 なお、中間配当を実施する時の中間配当金受領株主確定日は、3月20日であります。
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞
貸 借 対 照 表 及 び 損 益 決 算 書 の ホ ー ム ペ ー ジ ア ド レ ス	http://www.marusanai.co.jp/
上 場 証 券 取 扱 所	名古屋証券取引所市場第二部（証券コード：2551）
名 義 書 換 代 理 人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	名古屋市中区栄三丁目15番33号（TEL460-8685） 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部 TEL(052)262-1520(代)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
1 単 元 の 株 式 の 数	1,000株
単 元 未 満 株 式 の 買 取 請 求 場 所	名義書換代理人事務取扱場所及び同取次所 (株式会社証券保管振替機構に預託されている単元未満株式については、 お取引の証券会社等にお申し出下さい。)

《お知らせ》

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

● 株主優待のお知らせ ●

毎年9月20日及び3月20日現在の1,000株以上所有の株主様に対し、当社製品（定価3,000円相当）を毎年12月及び6月に贈呈いたします。



2003年12月株主優待（例）



● ホームページ ●

<http://www.marusanai.co.jp/>

e-まめ通販



マルサンアイ株式会社

本社／〒444-2193 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地
TEL (0564) 27-3700 FAX (0564) 27-3721

